1．お住いの都道府県	2．お住いの地域で登下校の際、災害発生時注意する地点、また普段から気になる地点などございましたらご記入ください。	3．災害について、普段からお子さまに注意している事（ご自身で注意している事）などありましたらご記入ください。	4．お子様やご家	5．現在様々なウェアラブル端末があります。もし登下校中や通勤時に災害が発生して、お子さまやご家族に災害情報や避難指示などを伝えるものとして「こういうものがあれば」と言うのがあれば具体的にご記入ください。 現在有るものでも、保護者様や当事者様から見てこのようなものあがればと言う物でもご記入ください。
愛知県	崖の近く、高架下、ビルの下(ガラス落下)	朝に災害が起きたら、旗当番のお母さんや、ボランティアの方の指示に従う。帰りに災害が起きたら、こども110番に登録している最寄りのスーパーやコンビニに駆け込む	LINE	ランドセルにつけて現在地を知らせるシステムは、あった方が災害時は安心かなと思います。
愛知県	交通の状況（電車の遅延、休止等）	特になし	LINE	交通や災害状況がリアルタイムでわかるもの。都心でも、リアルタイムで状況を把握するツールが発達してない。いち早く状況を把握するためには、Twitterでその場に居合わせた人のツイートがないか確認するしかない。該当するツイートがなければ分からないままであることが多い。
愛知県	帰宅支援者の確保	サバイバル能力を高めること	LINE	行政や学校、教育委員会からメール配信や、保護者間でのLINE、SMSの利用で連絡が取れればと思っている。その時、機能するのかが少し不安ですが使えなければ伝言版など利用予定。普段からの地域交流で地域との繋がりを構築することも意識しています。障がい児の保護者も地域の中で孤立しないように同じ障がいを持つ仲間で普段から交流を深めていくことも重要だと感じています。
愛媛県	メールで連絡。とにかく逃げること。三日後に必ず迎えにいくこと。	お母さんも逃げるから自分で逃げて。必ず迎えにくる人がいる。	その他	親が聴覚障害のため、公衆電話で連絡出来ない。
愛媛県	川沿い	危険回避	LINE	icチップの導入
愛媛県	子どもにも分かりやすい目視の標識が欲しい	避難鞄に難聴であることの表示をつけている。補聴器の電池や充電器などを携帯している。	その他	今は思い付かない
愛媛県			その他	わからない
愛媛県			LINE	誰もが必要な情報・知りたい情報を安易にどこでもリアルタイムで入手することのできるシステムがあればいいと思います。 また、電気などが使えなくなった場合に、例えば聴覚障がいのある方等が安心して必要な情報をリアルタイムで得ることのできる情報入手手段等もあるといいと思います。
愛媛県		家を出る前に必ず火の元やコードの絡みを確認する	LINE	放送の音声が文字化して流れてくるものが普通に外にもあれば嬉しい
愛媛県	大災害でも大雨でもないのに、よく氾濫している用水路がある 海抜が低いところに学校があり、周囲に高い建物がない	なし	LINE	ネットが混線したりダウンしなければになりますが、情報すべてを正しく文字化するツールがあればいい。 また、端末にFM(ロジャー)のような機能を内臓しイヤホンなしでも雑音が入りにくくなってると良いと思います。
愛媛県		情報の把握	LINE	携帯での連絡や街全体（個人宅、店舗）からの避難放送網の整備ます
愛媛県	川		LINE	聴覚障害なので、視覚的にわかるもの
愛媛県		避難場所を家族で、確認し　普段から話し合しあっている。火事などの場合、出火した時に　あわてないように、どのように対応するべきか、子どもに、伝えている。	LINE	小学校中学校は、携帯などを学校に持ち込こむことが禁止されているので、緊急時の場合不便に感じる。個人情報保護のため、保護者間での、連絡網なども消えつつある今、地域の繋がりをどう考えていくかが、課題だと思っている。
愛媛県	すぐ近くに田畑のある住宅街なので、塀や路地、水路が多く、塀が崩れたり、道が塞がれたり、水路に落ちる危険もある。	どんな状況で被災してもすぐに誰かに助けを求めたり、助け合うことができるようにする。	LINE	通信インフラがどうなるのかが心配。
茨城県	田んぼや川が多い地域なので特に洪水が発生した際に、何処が水没しやすいか分かると安心です。	通学路の避難場所をよく覚えておくよう話をしています。	LINE	地図で自身の場所と避難場所が分かるアプリ。また、保護者の位置情報も伝えられたら尚良しです。
茨城県	電車	何かあったらすぐ連絡	LINE	携帯追跡アプリ
岡山県	南海トラフの場合、津波で水没する地域のそばが通学路です。難聴児が一人で下校してた場合、情報は伝わらないでしょうね。 通学路には簡便なわかりやすい文字表示とイラストも交えて警告する電光掲示板が必要でしょうね。	子供は成人してるので特にないです	LINE	成人の難聴者としての回答になりますが、LINEとかメールが来てもわからない事がある。スマートウオッチみたいな対応が有れば嬉しい
岡山県	生活道路が狭いので、土砂崩れがどこでもあり得るので、意識はしている		LINE	新しい端末を持つのは不便に感じます。iPhoneにアプリがあれば便利かも
岡山県	川周辺。山周辺。	待ち合わせ場所を相談しているがその時にその判断ができるのか心配。	その他	スマホ（携帯電話）。地域の人との関わり。
岡山県	洪水被害のあった岡山市平島地区砂川の近隣地区です。岡山県は、自然災害は少ない県ですが、河川、用水路、低湿地が多い県です。防災意識が高くないのが、いちばんの懸念だと感じます。	避難所の確認。	LINE	災害時でも、必ず通信できること。電源確保できること。
岡山県	自分の住んでいる地域で、次に大規模豪雨があった場合、旭川が決壊する可能性がある事、また旭川が決壊した場合、我が家の周辺が浸水する可能性が高いことを、家族や町内会から聞かされている。そして、自宅が浸水しなかった場合でも、周辺が浸水した場合、最寄駅から自宅まで帰ることが出来ない。（家族も車で迎えに来れない） 更に、JR津山線で通勤しているが、かなりの確率で、災害時には沿線のどこかが浸水したり、土砂崩れが起こり、通勤出来ないこともしばしばある。	常に、スマートフォンをチェックして、災害情報はくまなく調べている。特に、台風の予想進路や、避難勧告の情報、電車の運行情報などは、常にスマートフォンで、最新の情報を得るように心掛けている。 また、耳が聞こえないので、スマホが使えなくなると一巻の終わりだと思っている為、モバイルバッテリーは常に持ち歩いている。	LINE	特に思いつかない。
岡山県	ラジオで情報は聞き取れないじゃないんかって思う	無い	LINE	ラジオと同じくらいの速さで目でみれる情報が瞬時に出てくれたら嬉しいです
岡山県	家の近くに川が流れています	特にありません	LINE	災害の新情報を教えてくれる機器
沖縄県	学校に行くのに交通量の多い国道を渡る事から子供には注意している。	津波などが来た際の避難場所(高所)を決めている。	LINE	電池が長持ちする携帯電話。
沖縄県	舗装された道から帰宅するようにしている。また人気がない暗い道は避けている。	人工内耳用電池とポータブルバッテリを常に持参している。	LINE	子供でも使いやすい、自分の位置を瞬時に送信できるボタン型ガジェットなど。単機能型でボタンを押すだけで使えるシンプルなもの。
沖縄県	海岸沿いなので地震の際は気になります。	家族間での連絡体制	LINE	緊急時にメッセージなどを受信する腕時計とか、小さなタブレットみたいのがあれば良いと思います。 現在、自治体などでは防災無線等で情報を流していますが、外出時などは聴覚障害児者には伝わりません。 スマホなどもありますが、肌身離さず持っているとは限らないので腕時計タイプだといいのかなあって思います。
沖縄県	国道や交通量多いの町道を通る為、障害児のみならず、健常な低学年でも不安。町からバスが出ているが、時間が指定のため、乗り遅れたら保護者が連れて行かないといけない。	サイレンや防災無線の音を聞かせている。また、台風襲来時には家の中なら外の状況を見せ、「災害」というものを肌で感じれるようにしている。	LINE	携帯やスマホのみならず、カーナビやにも情報を出して欲しい。 また、台風時には窓を閉め切るため外からの情報は聞こえないので、自宅に防災無線などを配布してほしい。
沖縄県	海岸近くなので津波が不安	避難場所を決めている	LINE	分からない
沖縄県		学校で習っている、「おかしもち」は家庭でも言い聞かせている。 緊急避難場所の確認や、自分の命は、自分で守るを常日頃、言っている	その他	GPS機能付 テレビ電話可能で、簡単に操作が出来るスマホなような物
沖縄県		周りに助けを求める	LINE	どこに避難しているか送信してくれるアプリ
沖縄県		自分の身の安全の確保	LINE	緊急時に使える、電話等
岐阜県	防災サイレンがあるが大雨の時は誰も聞き取れない	携帯で安否確認ができたら、安全が確保できた場所から移動しない。	LINE	学校は字幕で表示がある、災害時に防災対策課等とつながって、住民向け案内をしてくれると良い。放送も音が広がって何を話しているか高齢者には聞き分けにくいので。
岐阜県	川の側や山裾の側を歩くから雨の時は気になる	1人にならないように皆んなで行動する	その他	位置情報を知らせる端末
宮崎	河川	まず自分の身を守る	LINE	スマホやタブレットは、災害時に身を守ると言う目的とは大きく異なるツールなので、安全ブザーの要領で繋がるものがあると良い。
宮城県	公共交通機関からの緊急情報伝達が依然音声のみになっており、文字情報はこちらから当該機関のホームページやSNSにアクセスして初めてわかることが多い。たとえば、東北新幹線でも緊急伝達事項が文字電光板に至急表示で	情報獲得の手段と自分の存在を伝える情報発信の手段を複数確保している。	LINE	緊急事態時のGPS情報の自動発信、確実にメッセージのやりとりができる緊急回線確保など。
京都市	学校の位置のほうが、不安		LINE	スマホ
京都府	今のところなし	交差点による衝突	LINE	ウェアラブル端末が、災害時にどういう効果をもたらしてくれるのかイメージがわかない。そもそもウェアラブル端末のことがわかっていない。
京都府	人家がなく、人がいない場所	緊急時は周りの人に聞こえないことを伝え、助けを求めること	LINE	公共施設はもちろんですが、コンビニやお店等にも、緊急情報を表示する電光掲示板や音声放送があれば、健常者も便利になると思う
京都府		瓦屋根の下を避ける	その他	スマホ
熊本県	建物の倒壊や、農道での落雷（避難場所が瞬時にない）	全てにおいて防災意識、防災訓練。実体験を、時あるごとに思い出させたり、想定外の出来事こそ、備が生きる話を繰り返しています。	その他	正確な避難指示情報
香川県	河口付近の春日川	水路等の水量	LINE	携帯端末とは独立したウェアラブル端末の
香川県	道路や田んぼの排水溝、	大雨になったら、排水溝には近づかないように注意する	LINE	緊急連絡先をまとめて送るアプリ
香川県	川の氾濫等	家で1人で留守番した際に、津波など危険があった場合に、小高い避難場所を家族で統一している。	LINE	携帯電話や緊急時の対応機器
香川県	川の氾濫等	家で1人で留守番した際に、津波など危険があった場合に、小高い避難場所を家族で統一している。	LINE	携帯電話や緊急時の対応機器
香川県	分からない		その他	ワンプッシュで出来る
香川県	自宅近くに比較的大きい川があり、大雨の警報が出た時などかなり増水する	自宅周辺にいる時は指定避難場所に行くより近い病院に避難する	LINE	どんなスマホでも、誰でも直ぐに位置が分かるよう簡単に操作できるGPS機能を付ける
香川県	特になし	まわりをよく観察する、恥ずかしがらずに助けを求める。	LINE	わかりません
香川県	ブロック塀等の一定の高さを有する物のある場所(倒壊)、水路(転落、増水による道路の浸水)	地震の際には、ブロック塀や一定の高さのある物から離れて、身を守る。災害時の集合場所(家族の避難場所)の共通理解。	LINE	災害時、電波受診が難しい時にでも お互いに やり取りできるアプリ(ツール)
香川県		まず家族と連絡が取れなくても、周囲の人とあわせた避難をすること	LINE	子供が市外に通学しているため、通学途中の避難場所を知らないので、地点で確認できるものがあれば助かります。
香川県			その他	GPS
香川県	特になし	子供が独りで行動することがないようにしている	LINE	スマートウォッチなとすぐに確認しやすいもの
香川県	地震の際に溜め池が決壊しないか心配です。	備蓄をする事と、家族で逃げ場所の相談をする事です。	その他	緊急速報
香川県	塀のあるところ。溜め池の近く。橋。など、いろいろ。	連絡をとること	LINE	あらかじめ登録してあれば、災害が発生した時点で、そのアプリを開きさえすれば、家族のGPS情報(今いる地点が即 表示される)が わかるようなアプリ
香川県	太田の用水路	ヘルプマークを付けている	LINE	現在地と最寄りの避難所が分かるアプリ
香川県		1人で避難出来ない、集団生活も困難なので、不安。	その他	Apple watchが、簡単に使えるなら。
香川県	通学路に川がある		その他	避難時子どもが使用できる電話
香川県			LINE	アプリによる情報確認
香川県	現在は幼稚園の送迎は親が車で行っています。シェイクアウトでは徒歩で幼稚園まで向かったのですが、途中に古い建物や工場があり『崩れないか、工場が爆発しないか』と考えると不安になりました。	自宅には防災グッズや食料の備蓄をしています。家族とは避難場所の確認を行っています。子供には地震があったら机のしたに潜るんだよと話しています。	LINE	現在の状況や、今するべきことなど、分かりやすく順序や写真つきで伝えてもらえると子供も理解しやすいと思います。
香川県	特にない	情報が入ったら慌てず行動すること	LINE	公衆電話
香川県	春日川流域	あ	その他	い
香川県	春日川流域	現在10歳で「さいがい」を認識していないと思います。避難・消防訓練などの体験を通じて理解して欲しいと思います	その他	見て（聞いて）→理解→逃げるの行動が１人で出来ない。防災カードや、ブザーに普段から慣れており、パターンを覚えておくことが大切。避難所が、視覚的（➡矢印や、マークなど）に分かりやすいと助かります‼
香川県	河川、農業用水路、高速道路アクセス道路	情報収集	LINE	集約型のプラットホーム(緊急時の情報検索激増による回線能力ダウンに対する合理化を含めて)
香川県	堤防決壊により浸水するハザードマップ地点	道路脇の排水路	LINE	伝言ダイヤル、LINE、
香川県	ため池、外壁の高いところ	地震、豪雨の際は、自宅二階もしくは、ため池から離れたコミュニティセンターに避難するように伝えている	その他	スマホ。端末の指示に従うのが難しい場合もあるので、端末も大事だが、周りの助けがあればと思います。専門的知識のある方が「頼ってくださいねバッチ」のようなものをつけていてくださると助かります。
高知県	川の氾濫	障害の程度や連絡方法などを記載した安心カードを持参。 災害(防災)ついての正しい情報を得るために防災学習などに参加する。	LINE	通学路から最寄りの避難所の位置や、避難所までの安全なルートを表示してくれるアプリなど。
高知県	全体が津波浸水区域であること		その他	今使えるモノを全然知らないので知りたくなった。安全な場所に誘導する為にはどうしたら良いのかわかりません
鹿児島県	高台なので、津波などの心配はないが、通学路に古い住宅が多い為、大きい地震などがあった際は不安である。	①何かあった際は、避難所指定場所の公園か、所定の知人宅へ行くように話をしている。 ②人工内耳に必要な部品などをケースに常備し、避難道具と一緒に置いてある。 ③民生委員へも②の件を知らせている。	その他	蛍光掲示板が万能なら問題ないが、もし難しいようであれば、各場所(電柱などなら目につくのでは)にサイレンを設置し、サイレンの色(赤なら地震被害で家屋が倒壊している可能性があるので避難指定場所へ、黄色は水害、青なら倒壊の可能性がないので自宅待機…など色別に災害や避難場所の指示を決め、日頃から子供達へ周知&サイレン場所にわかるように記載)にて知らせる。 聴覚障害児に限らず、健常児にも有効ではないかと思う。 正直、水害などの時に放送が流れるが、健聴者でも、音が割れてるので聞きずらい。
鹿児島県	高台なので、津波などの心配はないが、通学路に古い住宅が多い為、大きい地震などがあった際は不安である。	①何かあった際は、避難所指定場所の公園か、所定の知人宅へ行くように話をしている。 ②人工内耳に必要な部品などをケースに常備し、避難道具と一緒に置いてある。 ③民生委員へも②の件を知らせている。	その他	蛍光掲示板が万能なら問題ないが、もし難しいようであれば、各場所(電柱などなら目につくのでは)にサイレンを設置し、サイレンの色(赤なら地震被害で家屋が倒壊している可能性があるので避難指定場所へ、黄色は水害、青なら倒壊の可能性がないので自宅待機…など色別に災害や避難場所の指示を決め、日頃から子供達へ周知&サイレン場所にわかるように記載)にて知らせる。 聴覚障害児に限らず、健常児にも有効ではないかと思う。 正直、水害などの時に放送が流れるが、健聴者でも、音が割れてるので聞きずらい。
秋田県	今は自家用車での送迎の為大丈夫です。が、家の周りは水がつきやすいところなので急な豪雨など心配です。	地震時は頑丈なものの下に隠れるなど。火事などは煙を吸わないようにハンカチなどを口にあてて低い姿勢をとることなど。	その他	GPS付きでどこにいるのかが分かる。いざという時の防犯用ブザーがわりになるもの。家族からの伝言などがすぐに伝わるような機能。自分の障がいなどをあらかじめ入力できるような機能(ヘルプカードのような)
神奈川県	海沿い。密集している建物	知人のみ頼る。知らない人からの言いなりにならない	LINE	LINEで現在の位置、これから行く先、集合場所を伝える
静岡県	信号が多いので、災害発生時に信号が機能していない中で、安全に帰宅できるのかが心配です。難聴のお子さんが近くにいた場合、難聴であることに気が付かずに、遠くから言葉で誘導をしてしまおうとしてしまうかもしれませ	学校が安全な状態なら学校にいること。大人のパニックしているし、悪い人もでるので、知らない人についていかないこと。	その他	とにかく現在地がわかるもの。そして、電池が長持ちするのも。あまり機能は必要ないと考えます。
静岡県		避難場所、集まる場所の確認	その他	GPSつきランドセル
静岡県	幹線道路の交差点 信号の無い横断歩道 橋 歩道や自転車専用の表示が無い道路	地域の防災訓練に参加する事。 家族が仲良く、普段からたくさんのコミュニケーションを取る様にしている。	LINE	特別無い
千葉県	電車に長時間乗るため（千葉県より都内の私立中学校へ通学中）、その間に災害があった場合はどうするかは、よく話し合っています。災害発生時に気を付けるのは鉄道の運行状況でしょうか。	災害時は、普段はカバンにしまっているヘルプマークを外に出してつけるように言ってあります。また、災害時にどの地点からどうやって帰ってくるかも話し合っています。	LINE	通学にはスマホを持たせていないため（便利すぎて勉強の妨げになるから）災害時は自分で判断し避難する。連絡は公衆電話でというようにしています。便利な端末も良いですが、単機能で緊急時のみ使えるような端末があったほうが私は嬉しいです。 めったにない災害のために備えるのと、勉強の妨げになるのとどっちを取るかと言われたら、私は勉強の妨げにならないようスマホ等を持たせない選択肢を取りますし、現に取っています。 台風15号が直撃した地域に住んでおりますし、その際は、混乱の中、学校に行かせる行かせないで気をもみました。 幸い、千葉県から都内への往復で、鉄道には情報表示もありますし、中学生ですので人に尋ねることもできますので、こういう形でもなんとかなっています。
大阪府	登下校時に通る古い商店街	避難所での待ち合わせ	LINE	小型のＧＰＳ対応の連絡ツール
大阪府		1人にならない	その他	地域の放送
大阪府			LINE	火害情報で「ある避難所で、補聴器や人工内耳の電池の予備があります。」というようなお知らせがあればなぁと思います。持ち忘れる人がいるから。
大阪府	中学校校庭	特になし	LINE	ヘリコプターによる誘導
大阪府	海沿いなので地震による津波	集合場所を決めている	LINE	携帯電話へのメールやメッセージ。 緊急時だけではなく普段から役所や国から定期的に注意喚起を促すメッセージや緊急時の対応を指南する内容など、常に防災を意識出来る環境を作ること
大分県	小さな橋を渡るので水災害の時は　渡れない点	人工内耳の電池は　いつも肌身離さずに持ち歩く点	その他	特にわからない
大分県	４年前ぐらいでしたでしょうか⁉救急隊の方々とお話をしたときに、人工内耳の事を一切知りませんでした。その時もっと多くの方が人工内耳の事を知って欲しいと思いました。そのはなしあいの中で、救急隊から言われたのが、子どもが一人の時、事故などで人工内耳が飛ばされていたら人工内耳装用者だとは思わないので、手首にリングや、名札などを見たら直ぐに人工内耳装用者だと分かるようにして欲しいと言われました。 確かに日頃から装用者カードは携帯していますが、救急時に他人は見つけることが出来ないとお思います。 災害時のときは電池の充電です。市役所の担当者はもしものときは優先的に充電することが出来ますとは言われましたが、実際本当にできるのか不安です。バスの優先席ではないのですが、優先コンセントみたいなのを設けてくれるとありがたいです。	学校には、聴覚障害者と書いたバンダナをクラスに置いてもらって、もしもの時にはつけるように言っています。また、空気亜鉛電池も携帯させています。	その他	装用者リングがアップルウォッチみたいになっていて、何かあれば振動で知らせてその内容も画面で見る事が出来る‥目覚ましのアラーム付きだと尚更嬉しいです。
大分県	思いつきません。	ありません。	LINE	本人に、名前や住所、親の連絡先、職場、本人の会話レベルなど書いたカードを持たせる。
長崎県	斜面地が多いので、大雨になると鉄砲水になる危険がある。		その他	逆に知識がないので知りたいです。
長野県	積雪時は歩道がなくなる。地震発生時空き家屋の倒壊が心配。	避難場所の確認。電話を借りて親に連絡を取ることを約束している。	その他	小学生のためウェアラブル端末を持たせるより、地域の大人に守ってもらうことが重要と考える。変質者や急病時にも応用がきくと思っている。障害のある子もない子も「たくさんの大人の手により育つ」ことが大事ではないか。
長野県	災害のレッドゾーンの確認	携帯やテレビで現状確認	その他	速やかな災害提供
長野県	都住の交差点。	交通マナーを守る。飛び出しをしない。	その他	長女に携帯を持たせて、正しい使い方を学ばせています。
長野県	川沿いの堤防道路、アンダーパス、土砂崩れ注意箇所	緊急時集合場所、非常袋、車載装備、天気予報、ニュース、災害伝言板、他	LINE	電波と同時に光と音を発する機器が有れば非常時に役立つと思います。
長野県	電車通学なので天候や事故で予定通り電車が動かないことが一回ありました。その時は一緒に乗っていた方が補助してくれました。	ヘルプカードを身に付ける、１日の予定を記入した紙を持つ	その他	イラストつきの指示機能
東京都	少し人通りのない住宅地を通る箇所があるので、そこで災害が起こった場合子供だけで避難の判断ができるのか心配	学校や学童等その場で待機するよう話していますが、もう一度しっかりと何か起こった時の居場所について話しておきたいと思いました。	その他	ランドセルに防犯ブザーのように当たり前に装着できるもの。通学路を通らないとブザーがなったり、子供の動きをGPSで監督できる操作が簡単で丈夫なもの。
東京都	川の近く	いつも同じ道を通るように伝えている。	その他	まだ子どもが小学生なので、まだよくわからない。
東京都	古い建物が密集している地域	携帯電話を使った連絡方法、児童館など公共施設の立ち寄り場所を確認している。	その他	携帯電話の通信障害時に使える通信機器。
徳島県	学校付近の地盤が低い。	何があるか分からないので勝手な行動はしないように言ってある。	その他	見える指示があれば聞こえなくても直ぐに行動できると思う。
徳島県	歩道がせまい	早めの避難をする	その他	ボタンひとつで意思の疎通ができるグッズ
徳島県	沿岸部なので津波が心配。	どこで被災するか分からず、通勤距離が長いと不安。車にヘルメットと懐中電灯を常備している。	その他	避難勧告等を文字でスマホに表示してもらうのが、自分にとっては一番良いかと思う。
兵庫県	沿岸部	補聴器の電池を予備を持つ、携帯を持たせる、国道2号以北に避難	LINE	大きなLED電光表示、天空へのサーチライト、昔の家事を知らせる鐘、スマホ一斉放送、警笛汽笛
兵庫県	路線バスを使っての小学校登校となるので、路線バスにのってる時の災害は不安。	災害や危険なこと、困ることがあれば、周りの人に助けてもらう、訊ねるよう話をしている。	その他	文字で伝わることが大切。iPhoneなどのスマートフォン。
北海道	現状、寄宿舎で生活しているため特に無いが、帰省時のJR車内において災害にあったことがある。	JR車内での経験を踏まえ、スマートフォンの必携とモバイルバッテリーの常時持ち歩きを推奨しているほか、形にとらわれない聴者とのコミュニケーションについて、その方法や気構えなどを身につけるよう子育てを行ってきた。（参考：JR車内において災害により列車が停止した際には音声認識アプリ（キーボード入力）を使い、隣席の中国人とコミュニケーションをとり、停止した理由や復旧のめど等の情報を入手し、親あてに連絡をしてきた）	LINE	様々な場面において災害に遭遇する可能性を踏まえ、位置情報を勘案した一覧性・利便性の高い災害情報アプリが開発されるとありがたい。現在はそれぞれの機関がそれぞれの方法で情報発信しているケースが多く、情報が取りづらい。駅・空港→当該路線にかかる遅延情報（鉄道会社・航空会社）、自宅→周辺地域における避難情報（自治体等）
北海道	通学路が車通りの多い所なので補聴器などつけていても音など気づきづらい	近くの大人に助けを求める事、大人の指示に従う事。	その他	視覚的に異常を知らせるパトランプや電光掲示板があればいいと思います。もしくは本人が首から下げるパトランプ替わりになるもの、スマホの様な端末など。
北海道	デイサービスと連絡が取れない場合があると、親が共働き就労しているので心配。知的障害もあるダウン症なので意思表示がうまくできないので、一人の時に行動できない。	持ち歩くリュックに入れてある物に、連絡先明記と鍵を持たせている。キッズケータイを持たせている。	その他	キッズ携帯を持たせている。居場所がわかるGPS機能の付いていて、知的障害があっても本人が発信すると決まった連絡先につながるもの。あるいは発信しなくてもGPS機能で居場所がわかるもの。